



K.UNO NEWS LETTER

Vol. 31

ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。
この広報通信では、毎月1回、ケイ・ウノのジュエリーやオーダーメイドに関する
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。



夫婦の絆、家族の思い出、祖母の想い…… 宝石に込められた物語を リフォームで次世代へ

眠っているジュエリーが目覚め、輝きを取り戻すリフォーム。デザイン力、技術力、品質、共に高い評価をいただいているケイウノでは、オーダーメイドジュエリーと同様にリフォームでも、お客様に大変喜ばれています。

移り変わるトレンドに合わせて形を変え、その時代を生きる人々を彩るリフォーム。ケイウノと15年間オーダーでお付き合い

いのある、矢萩さんにその魅力を伺いました。

「宝石はそのまま使い、貴金属は買い取っていただくためフルオーダーに比べるとてもリーズナブルです。何よりもオリジナリティ豊かなデザインに生まれ変わり、宝石が輝きを取り戻したことで、そして込められた物語を丁寧に聞いて形にしてくれることがケイウノの最大の魅力です」



15年間当社とお付き合いがあり、ジュエリーリフォームを大変気に入っていただいている矢萩さん。指輪やお母様への贈り物にリフォームをご活用

15年前、目に飛び込んできたアーティスティックな店舗外観 ここから、唯一無二のジュエリーとの出会いが

取材当日、店舗外観の色に合わせたワンピースに身を包んだ矢萩さんは、自分のスタイルをととても大切にされています。

「人と同じ、というのがあまり好きではないので、私にジュエリーのリフォームは合っているのだと思います。これまで夫とのペアリングを1セット、自分用のリングを3点、母へのプレゼントとして、リング・ペンダント・イヤリングのセットをリフォームで作っていただきました」

家庭を築き、子育てをしながら出版・広告業界の第一線で働き、忙しい毎日の中、ジュエリーへの想いは途絶えることがなかったそうです。

「祖母がジュエリー好きで、そのような環境で育ったせいか、自分もいつしかジュエリーが大好きになりました。石の図鑑を見るほどになりました。ダイレクトメールやカタログなども、ジュエリーだとじっくり見たいです」

ケイウノと出会ったのは15年前だそうです。東銀座で、雑誌の広告営業として取引先を回っていた時のこと、サーモンピンクで彩られたアーティスティックなケイウノ銀座本店が目にと飛び込んできました。

「当時、ブライダル系の雑誌企画を担当していたため、ケイウノのことは存じていましたが、実際の店舗を観た時の驚きは忘れられません。いわゆる一般的な高級宝石店の

イメージを逸脱した芸術性を感じました。その時、リフォームを考えたので、ここしかないとい心に決めました」



アーティスティックなケイウノ銀座本店外観

その時リフォームしたいと考えていたジュエリーは、ブライダルリングでした。

「結婚10周年の記念にブライダルリングをリフォームしたいと主人に相談したところ、快く承諾してくれたのでお店を探していたところだったのです」

銀座本店の外観に魅了されて数日後、改めてリフォームの依頼のため来店しました。

「外観と同じように芸術性あふれる店内で、丁寧にヒアリングを行っていた良かったです。その時のことが、とても嬉しかったのでしよう。今でもアドバイザーの方の名刺をとってあります」と、初回アドバイ

ザーの名刺を見せてくれました。「この店舗も非日常な空間で、バラなどの高級な食器でお茶を出してくださるので、打ち合わせも楽しみの1つでした。イメージをお伝えしたところ、他にはないスタイリッシュなオリジナルデザインのペアリングが仕上がりに、主人にも気に入って貰え、以降日々身に付けています」

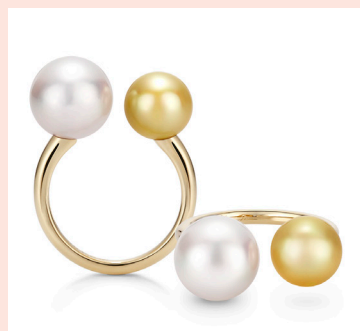


リフォームリングへの想いを語る矢萩さん。店内のアート性もお気に入りの1つ

時を経て変わっていく夫婦の姿 いつまでも赤い糸でつながりリフォームリング

昨年、矢萩さんは仕事で名古屋を訪れました。

「ふと立ち寄った、ケイウノ栄店で素敵なパールリングに出会いました。その後仕事に入ったのですが、パールリングが頭から離れなくて……」と笑いながら話してくれました。



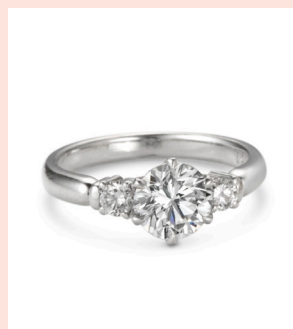
購入された個性的なフォルムのパールリング

「刻印を入れていたため、東京の店舗で受け取れるように手配してくださり、とても助かりました」

丁寧な対応に感謝すると同時に、再びリフォームが頭によぎったそうです。「結婚20周年にリフォームをしようと考えていたのですが、仕事や子育てに追われる日々を過ごすうちに、気が付いたら結婚式にあたる25周年を迎えていました。2人の子ども達も手が離れ、これからは夫と2人で過ごすことが多くなると感じたタイミングでもありました。これまで子育てを協力して貰い、仕事を続けて来られた感謝の気持ちを主

人に伝えるためにも、またペアリングにしたいと思いました」

今回、リフォームとして選んだのは、ダイヤの婚約指輪でした。「リフォーム前のデザインは当時としては人気でしたが、なかなか日常使いが難しく、引き出しにしまったままとなり気になっていました」



当時のスタンダードデザイン

婚約指輪と一緒に、社会人になって初めてのボーナスで買ったリングを持ち込みました。いくつかのデザイン画の中から、中石に婚約指輪のダイヤを使い、それをメレダイヤで囲う優しく上品なデザインに決まりました。

「使い勝手を考え、中石の台の高さになるべく低く抑えて、その台を横から見ると、主人と私の名前のイニシャルの頭文字がさりげなく入っているデザインに決めました。全体はプラチナですが、文字はゴールドにし、主人のリングも、ブレンなデザインながらプラチナとゴールドのコンビで、裏側に、同じくイニシャルの頭文字を刻印していただきました」



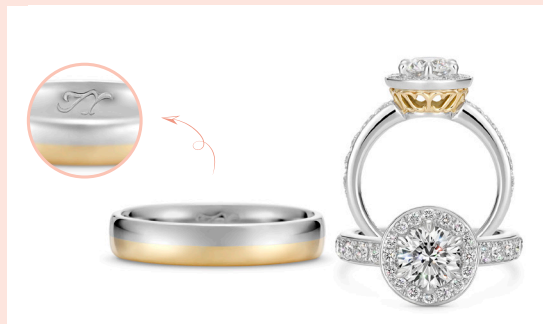
ふたりの想いが形となり、さりげなくペアを彩るリフォームリング

ケイウノではデザイン案が決まった後、立体的な模型を作成しデザインチェックできます。「デザインチェックには、珍しく夫も一緒に来てくれました。自由が丘店でしたので、その後久しぶりにランチと散歩をしました」

リングのリフォームが、夫婦の間を穏やかに刻んでいきました。

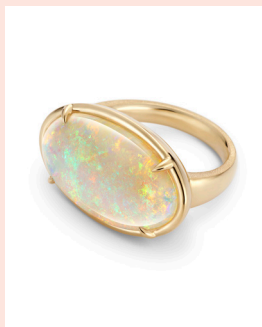
「受取りの際は私一人で伺いましたが、あまりの素晴らしさに、見惚れてしまいました。全体のデザインのバランス、文字のさりげない入り方、派手過ぎず、とても自然に優しい仕上がりとなりました」

恋人時代、新婚時代、熟年時代……赤い糸でつながった夫婦の歴史がリフォームしたリングに込められています。



オリジナリティに富み今の時代に合ったリフォーム後のリング

七色のオパールの光にのせて 心温かく伝わる亡き祖母の優しい想い



輝きが一層増したリフォーム後

「台が高く引つ掛かりがあり、使いにくくずつとしまつてあつたものを、リフォームしていただきました。デザイン画を描き起こしていただく際、大ぶりで傷が少ないのを褒めていただき嬉しかったです。祖母は明治生まれながら洋装でボブヘアが似合うおしゃれな人でした。祖母のイメージにも合う出来栄で、つや消しのゴールド台に乘せ変えていただき、オパールもとても喜んでいうでした」



昔ながらの縦爪オパールリング

そしてもう一点、祖母から受け継いだというオパールリングを、ご本人用としてリフォームオーダーいただきました。



お人柄にマッチしたファッション性が高いデザイン

祖母から母、そして娘へ、時代を超えて輝くジュエリーは、その想いと共に受け継がれていく大切な宝物です。ケイウノの技術が、モノクロの世界で眠っていた石を再び鮮やかな世界に導き、「オパールが喜んでくれる」、この言葉にリフォームの意味が集約されているようです。

「仕事が終わらず遅くまで奮闘している時、ふと手元で輝くオパールを見ると、学生時代に亡くなった祖母が『がんばってね』と応援してくれているように感じました。ジュエリーは、私のモチベーションをあげてくれる大切なお守りです。私の子どもは2人とも男の子ですが、いつの日かパートナーに受け継いでもらえたらと嬉しいですね」

形を変えて、それぞれの物語を見守る リフォームジュエリーは次世代への架け橋

これからもリフォームを考えているという矢萩さん。

「他にも手持ちの石や、今回リフォームで使わなかった婚約指輪の脇石がありますので、ステーションデザインのネックレス(チェーンの所々にダイヤを入れていただく)とペンダントトップをお願いしてみようかと、漠然と考えています。ステーションネックレスで個性的なものは、あまり見かけないので、ケイウノにお願いしたら素敵なデザインに仕上がると思います」

「デザイナー、アドバイザー、他のスタッフ、皆様がジュエリーに精通され、デザイン力やクラフトマンシップなどの高い技術をお持ちなのは勿論ですが、何よりもお客様一人一人のストーリーや気持ちを大切にされていることが気に入っている大きな理由です。背景にあるヒューマンシップが、商品の価値をより高めていらつしやる素敵なお店だと、今回も改めて思いました」

ケイウノは次世代へ受け継がれていくジュエリーを大切に、そして背景にある物語と共に、お客様と歩み続けます。単に宝石のデザインを変えるというリフォームとは異なる新しい価値が、ここから生まれていくのは確かなことです。



ジュエリーが大好きだから、想いを宝石にのせて家族に伝えたいと笑顔の矢萩さん



13年程前のリフォームジュエリー。形にしたい想いとケイウノの技術とのコラボレーションはずっと色あせません。

11月の誕生石「シトリン」

11月は、シトリンとトパーズという2つの誕生石があります。シトリンは、初冬にともす暖炉のように、暖かな黄色やオレンジ。和名で「黄水晶」と呼ばれ、その名の通り黄色やオレンジの色相に輝く水晶です。

写真のネックレスは、もともと持ちだったシトリンを使いエレガントに仕上げたリフォームオーダー。20代後半のご自身に向けて、“オレンジの石のように明るく、華やかな女性になれるように”と意味をこめてオーダーされました。

